

新

しい年が始まると、誰でも新たな気持ちでスタートしよう、という思いになりました。これまではうまくいかなかったことがあったとしても、「今年こそは！」と思わせてくれるのが新年です。私の場合、人を楽しませる、笑わせる、喜ばせることが大好きで、これまでもそうだったように今年もそれに邁進していきたいと思っています。笑わせる、楽しませるといっても私は芸人ではありませんし、その方法はいろいろです。

たとえば、とても身近なことでは、母親が料理をつくって、家族が「美味いっ！」と食べて喜ぶ顔が見たいとか、父親が汗水流して仕事をしてくれるけれど、それは家族の喜び、幸せを支えるためだとか。面白

い漫画や演劇や映画も、人びとを喜ばせ笑わせます。笑いは、人びとの心をつなぐ最速のツールだと思っています。

私は子どもの頃から、みんなを笑わせるのが大好きでした。そんな私がろう者クリスチャン劇団の一員として演技をする時、世界のどの国に行っても大爆笑が起こりました。言葉が通じない海外でも、人びとを喜ばせることができる。苦しみ、悩みを抱えた人を少しでも笑顔にしたい、人の気持ちを喜びに変えたい、そう思っていましたから、私自身はいつも笑顔で心がけています。私にできることは「ニコニコ」しかありません。

逆に、何につけ始める前から頭の中で「ありえな

笑顔は人のためならず。

い」「できない」「無理!!」「嫌い」「苦手」と思っていると、いつまでたってもできないままで、笑顔になれない。そうなる人は変わること成長することもできません。それどころか、負の感情に同調してくれる、何ごとにも喜べない人が寄ってきて、自分とは関わりのない悪口や不満が持ち込まれ、嫌なことが雪だるまのように増大してしまいます。ネガティブな思いや、嫌だなどという負の感情がにじみ出ているところには、同調しない、引き込まれないようにしましょう。逆に明るく返して、心のうちでそのような思いとは縁を切る。嫌な言葉は、透明な体を通りぬけていってしまいうようなイメージをもって、受け流してしましましょう。

とはいえ、人はさまざまなこと傷を受けます。最初は小さな傷だったのに、それを自分で深くぐって大きな傷にしてしまうこともあります。牧師としてその傷をどう受け止めようと、受け止められなかったとしても、とにかく私はいつも笑顔でいます。その人の傷が少しでも和らぐようにと願いながら、接することを心がけています。

人のために、と繰り返し言ってきましたが、実はいつも笑顔でいると、人を喜ばせたいと思いつつ過ごしている私自身が、一番ハッピーな思いに満たされているのです。

だから、なおさら笑顔をやめられないのです。

この新たな一年を、みなさんも笑顔でスタートしてみませんか。きっと、想像以上のハッピーな思いがどこからともなく湧いてきて、あなたをハッピーに、周りにいる人たちもハッピーに、毎日がハッピーに。そうして、ハッピーニューイヤ―を過ごすことができるようにと心から願っております。●

点

牧師、国際手話通訳者

郡美矢

text by Miya Koori

こおり みや 一九七〇年徳島県生まれ。アメリカ・マクダニエル大学大学院修了後、ろう者クリスチャン劇団の一員としてアメリカ国内外で公演。二〇〇六年帰国。但馬神愛キリスト教会と三滝グリーンチャペルで牧師を務める。国際手話通訳者として、国際手話以外に四方国語の手話に精通し、活躍。著書に「あなたは見えないうちで愛されている」がある。

